

学習プログラム開発をしよう

(C) グループ メンバー (春花さん、天西さん、尾熊さん、玉環さん、田村さん)
支援者: 高野さん

テーマ 青少年教育

個人の要望

- ・楽しい体験、経験がしたい(家で出掛けず)
- ・安心・安全な町づくりで子どもを育てる
- ・子ども達に色々な体験をさせたい
- ・世代間のつばかりを持たせたい
- ・子どもの居場所づくり
- ・インターネットなどの有害サイトへの不安

社会の要請

- ・家庭と地域の教育力の育成
- ・地域で連携を支援(後継者を育てる)
- ・家庭の教育力の育成
- ・育児相談窓口機能の充実・強化
- ・心豊かでたくましい青少年の育成
- ・指導者の要請(地域の人材)
- ・自然にふれ、正しい知識での指導力、環境作り

地域課題

町内会、子ども会加入が急激に減少する中で、人間関係の希薄化が進み、地域・家庭の教育力が低下し、青少年を育てる環境作りが必要。

学習目的

心豊かで「生きる力」を持つ子どもを育てる為に、地域を併せて、連携したネットワークを形成する。

学習目標

- ・世代間交流の楽しさや、必要性を理解する。
- ・子ども達に豊かな体験を与えるため、自分達の得意分野を活かした活動をする。

【学習プログラムを開発しよう!】

(C) グループ メンバー (春花さん、大西さん、尾熊さん、三浦さん、田村さん)
 支援者: 高柳さん

1 学習目的

心豊かに「生きる力」を持った子ども連を育てる為に、地域全体で連携したネットワークを形成する

2 学習目標

- ・世代間交流の楽しさや、必要性を理解する
- ・子ども連に豊かな体験を与えるため、自分連の得意分野を求めた活動をする。

3 プログラム名

地域の達人さん、出番ですよ!
 「わんぱく子育て志縁塾」

4 対象・定員

対象: 地域の達人 (昔遊びの達人・草花の達人・虫じりの達人・物作りの達人・おやつの達人)
 ※ 自薦他薦は問いません
 定員: 30名

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

材料代・昼食代として、第四回のみ参加費、500円。
 保険は実費(まちづくり推進委員会負担)

6 事前に必要な知識や準備物

- ・学区内での達人をリサーチしておく
- ・野外活動が出来る場所をピックアップしておく

7 留意点

- ・子どもの講座に終わらず、人材のスキルアップにつなげるよう注意する。
- ・野外での活動には、安全を配慮し、各班に救護スタッフを配置する。

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所
第一回 5月下旬 19:30~21:00	地域の課題を 知り！	◎ 地域の子どもの現状を知り、課題を解決 する為の具体的な方法を考える。 ＜講義＞ ① アイスブレイキング (10分) と自己紹介 ② 地域の子どもの現状を聴く (30分) ③ グループ討議 (得意分野別) (40分) 具体的な講座内容・方法を話し合う ④ グループ発表として情報を共有する (10分)	・現役小学校長	公民館
第二回 6月上旬 土曜日 13:30~15:00	得意分野を 活かそう！	◎ 得意分野別能力のスキルアップを目的に 専門家に知識を学ぶ ① 自然観察指導員から、自然のルールを学び 実際の活動事例や注意点を聴く (40分) ② 分野ごとに分かれて指導方法や子ども達との コミュニケーション作りの実践 (40分) ③ 各班の成果と課題発表 (10分)	・少年自然の家スタッフ	少年自然の家
第三回 6月下旬 土曜日 13:30~15:00	プログラム・ 広報誌作成	◎ 今までの学習をもとに学習プログラムの作成と、 子ども達の参加呼びかけ方法を考える。 ① プログラム作成 (30分) ② 呼びかけ方法 (30分) ③ 当日の流し・準備物の確認 (30分)	・生涯学習センター職員	公民館
第四回 8月上旬 10:00~15:00	いま実践！ 達人にお任せ！	◎ 子ども達の個性を尊重しつ能力を伸ばし、 世代間の交流を図りながら、個人として地域 の一員として「生き残る」を育てる ① 自己紹介、スタッフ紹介 (20分) ② 各グループに分かれて実践 I ③ 昼食をとりながらコミュニケーション作り ④ 各グループに分かれて実践 II ⑤ 参加者の感想を聞く (インタビュー形式) ⑥ アンケート記入 (スタッフへ) (達人のみ)	・地域の達人	少年自然の家

9 評価方法

- ・ 達人へのアンケート
 - ・ 子どもへのインタビュー形式でのアンケート (スタッフが開き取りをする)
 - ・ 保護者への聞き取り
- ↳ アンケートの結果を今後の継続した活動に活かす。

【各回の実施計画を立ててみよう！】

(C) グループ メンバー (春花さん、天西さん、尾熊さん、ヨシさん、田村)
 支援者: 高柳さん

1 学習テーマと学習目標

○学習テーマ

いざ実践！ 達人におまかせ！

○学習目標

- ・ 世代間交流の楽しさや必要性を理解する。
- ・ 子ども達に豊かな体験を与える為、自分達の得意分野を活かした活動をする。

2 回・日時・場所

○回・日時

第四回 8月3日(土) 10時00分～ 15時00分

○場所

少年自然の家 ホール他

3 講師，指導者，支援者

地域の達人

4 準備物

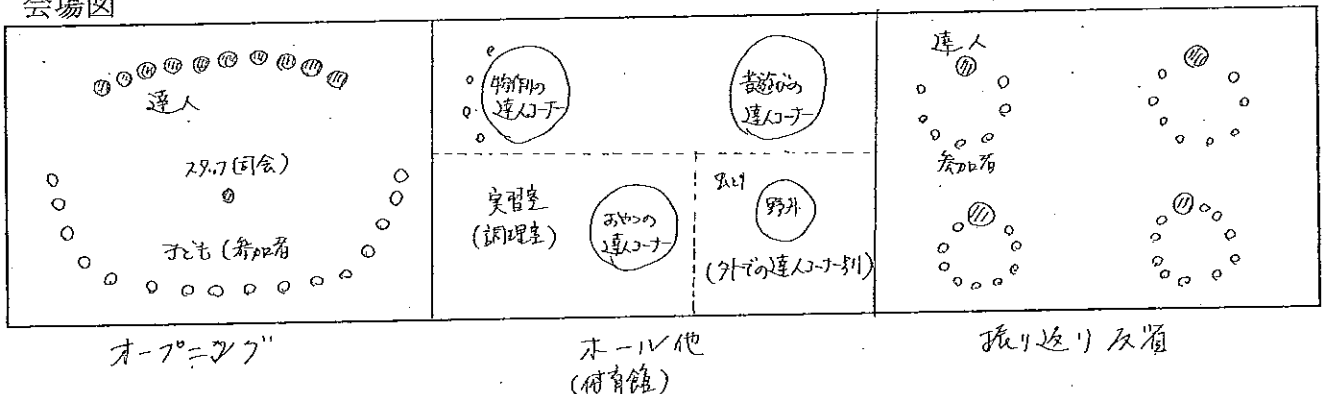
○参加者

- ・ 水筒 ・ 帽子 ・ タオル ・ 軍手 (綿手袋) ・ 汚れても良い服 ・ 虫こ網・カゴ (持ち帰り)
- ・ 保険証のコピー

○主催者

- ・ 名簿 (住所・氏名・年齢・連絡先) ・ 名札 ・ 救急箱 ・ 虫こ網・カゴ ・ 達人腕章
- ・ 遊びに必要な道具・材料 ・ アンケート用紙 ・ 筆記用具 ・ ハンカチ ・ 記録紙

5 会場図



6 実施計画

時刻	内容	留意点
9:00	スタッフ・達人集合 ・打ち合わせ・準備	受付名簿、名札、マジック、達人は胸章 持参と名前入り
9:30	来賓者受付 ・受付をし、名札に名前を記入。 班名を確認してもらう	受付スタッフ2名 名札は、班ごとに色分け A班(赤) B班(青) C班(黄) D班(緑)
10:00	開会式 オリエンテーション ・今日のねらいや日程について説明 ・自己紹介 ・A~Dの班に分かれる。 A班… 野外散策をいばから、虫とり達人や草花 達人から学ぶ B班… 体育館にて、物づくり達人から学ぶ 竹とんぼ作り C班… 体育館にて、昔遊びの達人から学ぶ コマまわし、おすまじ、ゴム飛ばし D班… 調理室にて、おやつ作り達人から学ぶ おやつ作り、カルメラ作り、マホも境	司会、スタッフ1名 各班スタッフ4名
11:45	集合 午後からのタイムスケジュールの説明	司会スタッフ1名
12:00	昼食 (ゴミステーションを回りながら)	
13:00	グループに分かれる A班は物づくりへ、B班はおやつ作りへ C班は野外へ、D班は調理室へ	屋内班は外へ調理へ、外やおやつ作りの子ども 達は中へを意識する。
14:00	グループ別のふり返り 各班にてスタッフによる子どもへのインタビュー	インタビューで出た意見はスタッフがまとめる。
14:30	各班によるスタッフの発表 達人からのひと言 終わりのあいさつ	
15:00	片づけ 反省会 (スタッフ・達人) 達人へのアンケート配布 (後日回収)	